



希望の鐘

2023・4・29 発行 文責：菅野 弘尊

「次の一步」

校長 菅野 弘尊

令和5年度、旭川聾学校101年目の春がスタートしました。今年度は幼稚園部と中学部に新入生、小学部には転入生を迎え、在籍18人となります。昨年度は創立100周年を迎え、関係の皆様にも子どもたちにも事あるごとにその意義と感謝を伝えさせていただきました。普通はその一区切りで終わりとなると思いますが、私は続くこの1年がさらに重要だと考えています。

100という数字、「百」という漢字を使った言葉は多数あります。100メートル走、百面相、百聞は一見にしかず、百獣の王、等々、「数多い、何度も、全ての」という意味で使われていることが多いようです。ところが、101という数字にかかわる言葉は多くありません。調べてみてもジーンズの型番や「101匹わんちゃん」のアニメ、昔流行った「101回目の〜」ドラマのタイトル位しか出てきません。

ただ、本のタイトルやいろいろな分野のベストセレクションをまとめたものには「101つめの〜」というように、101が使われているものをよく見かけます。100という数多いものを超えた次の1つ、さらに上・さらに先の一步というイメージを感じます。そういえば昔、体育の時間に「100メートル走の時間を縮めたかったら、ゴールで終わりと思わず、その先にゴールがあると頑張って走りなさい」と教えてもらい101メートル先のゴールを目指したことがありました。100回挑戦して一度も成功しなかったものの成功率は毎回0パーセントですが、101回目に成功したらもう0ではなくなります。「101」というものへの期待と可能性、大切さを感じます。

さて教育の場、学校の場に話を戻すと、私たちの学校が100年かけて培ってきた指導・支援のノウハウを生かすこと、そして子どもたちは自分の力と思いを子どもらしく毎日精一杯に出し切っていくことが、次の確実な一步になるものと考えます。1つ1つの活動、勉強、友達や先生とのやりとりを大切に、次に生かすこと、満足してしまわず勢いを止めないでいることが求められます。

旭川聾学校は、引き続き子どもたちも教職員もそれぞれが本来もっている力を十分に発揮できる学校を目指してまいりますので、保護者の皆様をはじめ地域の皆様の御理解と御協力をお願いいたします。



ごあいさつ

「癒されています。」 鎌田 隆仙(かまだ たかのり)

北海道立特別支援教育センターから教頭として赴任しました。学校での勤務は6年ぶりで聾学校は初めてです。久しぶりの学校で、子どもたちが学校生活を楽しく送っている姿を見るだけでも癒されています。教頭としての仕事を早く覚えて、皆様のお役に立てるよう精進します。



「明るく元気で笑顔で」 高村 理絵(たかむら りえ)

愛知県豊橋市立くすのき特別支援学校から来ました。北海道で生まれ、北海道で育った道産子です。両親が高齢になったので、戻ってきました。愛知県では、聾学校で勤務した経験があります。

乳幼児教育相談を担当させていただきます。明るく元気で笑顔溢れる教員を目指します。よろしくお願いいたします。



「精一杯頑張ります！」 小松 望美(こまつ のぞみ)

この度、東川養護学校から赴任しました、小松望美と申します。以前、寄宿舎指導員として聾学校に勤務したことはありますが、教員として聾学校で勤務するのは初めてです。わくわくどきどきの毎日を過ごしています。微力ながら、子どもたちの成長の一助を担えるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。



「はじめまして」 梶 愛実(かじ まなみ)

本年度、初任者として美唄養護学校から来ました、梶と申します。この度幼稚園部3歳うさぎ組の担任となりました。まだまだ手話は練習中ですが、他学部のお子さんとも楽しくお話しをしたいと思います。

幼稚園部を含め、学校に関わる皆さんと明るく元気に関わってまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



「よろしくお願いいたします」 柳谷 明依璃(やなぎや あいり)

北海道教育大学からまいりました。柳谷明依璃と申します。この度、小学部2年生の学級担任をさせていただくことになりました。

微力ながら、子どもたちの成長の一助となれるよう、精一杯頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。



「明るく元気に」 小林 日那(こばやし ひな)

北海道教育大学釧路校からまいりました。中学部を担当させていただく小林日那と申します。初めての聾学校に慣れないこともたくさんありますが、明るく元気な気持ちで頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。



「よろしくお願いいたします。」

福島 茜(ふくしま あかね)

初めまして、福島茜といいます。昨年度までは旭川市の交通安全指導員をしていました。初めての聾学校で手話も勉強中です。子どもたちとたくさん学び、たくさん話し、たくさん笑い、共に成長していきたいと思ひます。至らない点もあるかと思ひますが、精一杯頑張っていきますので、よろしくお願いいたします。



「よろしくおねがいします」

濱田 楓(はまだ かえで)

はじめまして、濱田と申します。北海道文教大学を卒業し、旭川聾学校が初めて勤務する学校です。小学部を担当させていただきます。手話は勉強中ですが、子どもたちとたくさん話して早く覚えたいです。

至らぬ点もあると思ひますが、元気に一生懸命頑張ります。よろしくお願いいたします。

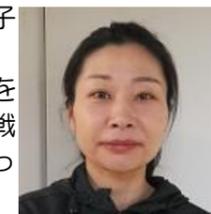


「一生懸命がんばります」

斉藤 亜矢子(さいとう あやこ)

旭川市立愛宕東小学校からまいりました斉藤亜矢子と申します。

手話は勉強中ですが、学校の皆さんとたくさんお話をし、早く覚えたいと思ひています。子どもたちの挑戦する姿や笑顔にパワーをもらいながら、一生懸命頑張っていきます。どうぞよろしくお願いいたします。



「新たな気持ちで」

松岡 久美(まつおか くみ)

以前本校に勤務していた時に手話付き校歌が完成し、特訓を受けたことを思い出しました。久しぶりの校歌でしたが、手話で歌うことができ、自分でも驚きました。

さて、少人数ですが精鋭揃いの寄宿舎メンバーを前に「明るく、楽しく、はつらつと!!」をモットーに日々奮闘しています。「新たな気持ちで!」頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。



「毎日楽しく...」

高橋 令子(たかはし れいこ)

東川養護学校から転勤してまいりました寄宿舎指導員の高橋です。手話に触れることが初めてのため、毎日勉強・特訓しています。また、新しい環境で覚えることもたくさんあり、脳がフル回転している状態です。早く手話を覚え、子どもたちとたくさんコミュニケーションを取って、毎日楽しく過ごしたいと思ひます。よろしくお願いいたします。

